

## 【OIE 情報】韓国における高病原性鳥インフルエンザ（H5N8）の発生について

韓国における高病原性鳥インフルエンザ（H5N8）の発生について、2015年7月28日付けでOIEへ報告がありましたのでお知らせいたします。

なお、我が国は2010年10月18日以降、韓国における低病原性鳥インフルエンザ（H7N7）の発生を受け、同国からの家きん、家きん肉等の輸入を停止しています。

出典：OIEウェブサイト（2015年7月28日付け）

[http://www.oie.int/wahis\\_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=17319](http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=17319)

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

### 【概要】

- ・発生数：110件（続報2）
- ・発生日：2014年9月26日～2015年6月10日
- ・OIEへの報告日：2015年7月28日
- ・血清型：H5N8（高病原性）

### 【発生状況】

- ・発生場所：全羅南道（ぜんらなんどう）の農場 23 件  
全羅北道（ぜんらほくどう）の農場 24 件  
京畿道（けいきどう）の農場 19 件  
慶尚南道（けいしょうなんどう）の農場 1 件  
忠清南道（ちゅうせいなんどう）の農場 6 件  
忠清北道（ちゅうせいほくどう）の農場 35 件  
蔚山（うるさん）広域市の農場 2 件

### ・合計数

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
家きん※	3,036,319	236	236	3,036,083	0

※あひる、鶏、がちょう、ニオイガモ

### 【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・獣医当局は疫学調査を実施中

【対応】

- ・ 野生宿主のコントロール
- ・ 淘汰
- ・ 隔離
- ・ 国内における移動制限
- ・ ゾーニング
- ・ 施設等の消毒実施
- ・ ワクチン接種禁止
- ・ 患畜を治療対象としない

【診断】

- ・ 診断施設：農林畜産検疫本部（国立研究所）
- ・ 診断方法：リアルタイムPCR、RRT-PCRウイルス遺伝子配列確認、ウイルス分離：陽性（2014年9月25日～2015年6月13日）

【参考】

2014年9月以降の韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生情報等は、当省ウェブサイトで公表しています。

- ・ 韓国における高病原性鳥インフルエンザ(H5N8亜型)の発生状況（2014年9月～）  
([http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/pdf/korea\\_hpai.pdf](http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/pdf/korea_hpai.pdf))
- ・ 過去の韓国当局のプレスリリース等（高病原性鳥インフルエンザ（H5N8亜型関連））  
([http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/korea\\_HPAI\\_H5N8.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/korea_HPAI_H5N8.html))